

2013年 6月 13日

## 調査報告書

- 1 とき：2013年6月13日
- 2 行先：文化のみち撞木館
- 3 参加者：山口清明、さはしあこ、政務活動補助員（浜田）
- 4 主な内容
  - ・ 撞木館は、名古屋市の「有形文化財」に指定されています。貸室では様々な催し物を開催していますが、貸室などが市民にどのように使われているかを視察調査しました。
  - ・ 6/12～23は「日本アルプス名山写真展」が開催され、山岳写真家の津野祐次さんによる北・中央・南アルプスや八ヶ岳連峰の写真展と、伊那市の名所・名品コーナーが併設されていました。
  - ・ 歴史的建造物の部屋や蔵に、ゆったりと展示されていて、昭和初期の文化に触れながら、新しい「文化」を発信していました。
  - ・ 庭園内にある茶室も貸室として利用可能です。
  - ・ 洋館1階の庭園を望む「撞木館カフェ」は、カフェのみの利用の場合は200円の入館料はいりません。名古屋の文化を大切にして、多くの人に触れてもらう重要性を感じました。

